

**2013年度第1四半期決算説明会**



**2013年7月31日**

---

# 2013年度第1四半期決算概要（実績）

---



# 2013年度 第1四半期 決算実績

<対2012年第1四半期実績>



## 決算実績のポイント

## 増収減益

(+/-, +/-▲は利益に対する影響を示す, 億円)

売上高	+310:	+	都市ガス売上増	(+160: 円安による販売単価増等 )
		+	LNG販売売上増	(+105: 販売量増、販売単価増 )
営業費用	▲368:	-	都市ガス原材料費等増	(▲200: 円安による費用増 )
		-	LNG販売 原材料費増	(▲105: 販売量増、円安による費用増)
営業利益	▲59:	-	都市ガス営業利益の減少	(▲46: うちガス粗利▲40(うち気温差▲70、スライド差+34等))
		-	前期TGバビオ融資金受取利息の剥落による営業利益減	(▲24)
営業外損益	▲40:	-	専用設備料収入の減	(▲20: 区域外大口専用本支管建設収益)
		-	為替差損益	(▲19)
特別損益等	+3:	+	有価証券評価損の減	(+38)、海外関係会社(ガスレーサー)株式売却益の剥落 (▲35) (単位: 億円)

	2013年度第1四半期	2012年度第1四半期	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	3,387	3,496	▲109	▲3.1
売上高	4,736	4,426	310	7.0
営業費用	4,336	3,968	368	9.3
営業利益	399	458	▲59	▲12.8
経常利益...①	396	495	▲99	▲20.0
当期純利益	260	317	▲57	▲18.1
気温影響...②	▲59	11	▲70	-
スライドタイムラグ...③	▲30	▲64	+34	-
年金数理差異償却額...④	▲5	▲11	+6	-
補正経常利益...①-(②+③+④)	490	559	▲69*	▲12.3%
補正当期純利益	322	360	▲38	▲10.6%

※▲69:ガス販売量減▲14(気温影響▲70控除後)、諸経費増▲22、電力+10、海外▲19、営業外▲40、その他セグメント利益等+16

経済フレーム	原油価格(\$/bbl)	為替レート(¥/\$)	平均気温(°C)	年金	運用利回り※個別、コスト控除後
2013年度第1四半期	107.7	98.8	17.5	FY13.1Q	▲2.05%
2012年度第1四半期	122.6	80.2	16.4	FY12.1Q	+1.47%

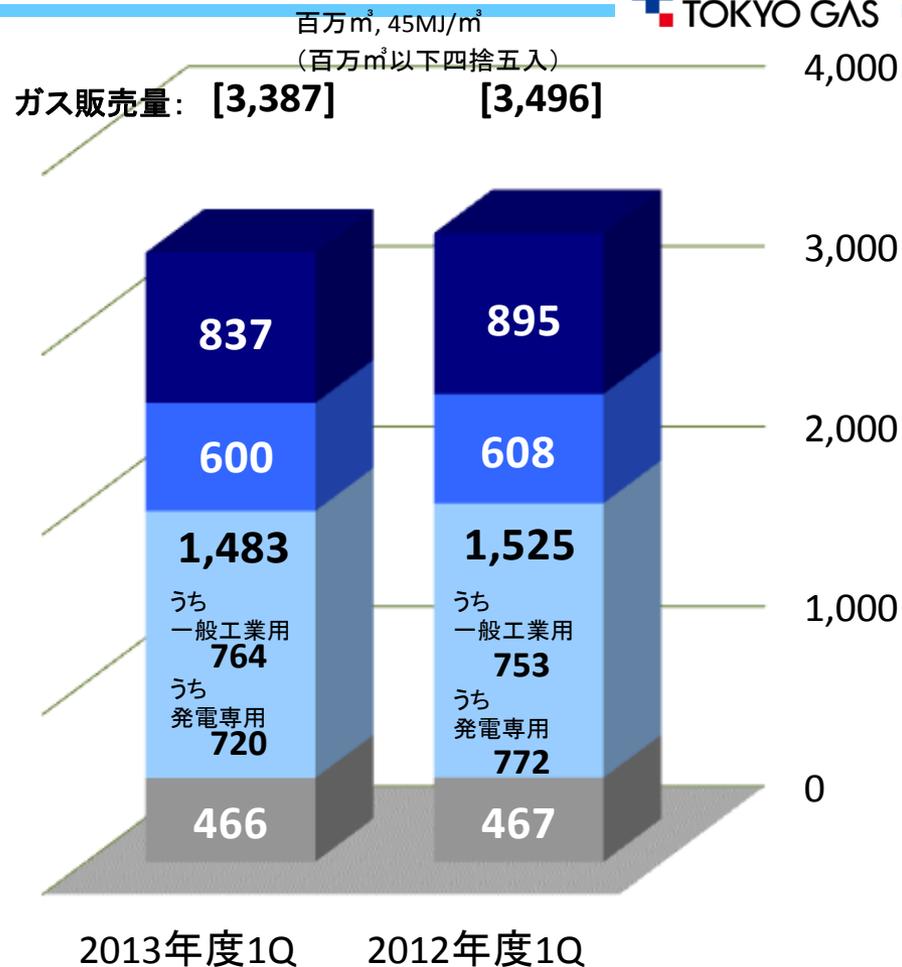
# 連結ガス販売量実績 (2013.4.1 - 2013.6.30)

## 2012年度1Q → 2013年度1Q

### ▲109百万m<sup>3</sup> (▲3.1%)の減少

[うち気温影響▲71百万m<sup>3</sup>▲2.0%の減少]

<p>■ <b>家庭用</b> ▲58百万m<sup>3</sup> (▲6.5%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気温要因 ▲58百万m<sup>3</sup></li> <li>・お客さま件数の増 +11百万m<sup>3</sup></li> <li>・日数影響 +3百万m<sup>3</sup></li> <li>・その他 (標準化後1件当り使用量減(個別) ▲1.2%) ▲14百万m<sup>3</sup></li> </ul>
<p>■ <b>業務用</b> ▲8百万m<sup>3</sup> (▲1.4%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気温要因 ▲9百万m<sup>3</sup></li> <li>・日数影響 +3百万m<sup>3</sup></li> <li>・その他 ▲2百万m<sup>3</sup></li> </ul>
<p>■ <b>工業用</b> ▲42百万m<sup>3</sup> (▲2.7%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般工業用: 鹿島地区新規獲得等 +11百万m<sup>3</sup></li> <li>・発電専用: ▲53百万m<sup>3</sup> ニジオ▲198百万m<sup>3</sup> (トーリングシフト) ニジオ以外+146百万m<sup>3</sup></li> </ul>
<p>■ <b>卸</b> ▲1百万m<sup>3</sup> (▲0.2%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般卸需要(うち気温▲4) ▲1百万m<sup>3</sup></li> <li>・大口卸需要 0百万m<sup>3</sup></li> </ul>



	2013年度1Q	2012年度1Q	増減
LNG液販売量(千t)	396	299	+97(+32.6%)
平均気温(°C)	17.5	16.4	+1.1

### お客さま件数

(単位:万件)

2013年度1Q末	2012年度1Q末	増減
1,099.5	1,087.4	+12.1(1.1%)

## 2013年度実績

トーリングによるガス使用量込(単位:百万m<sup>3</sup>)

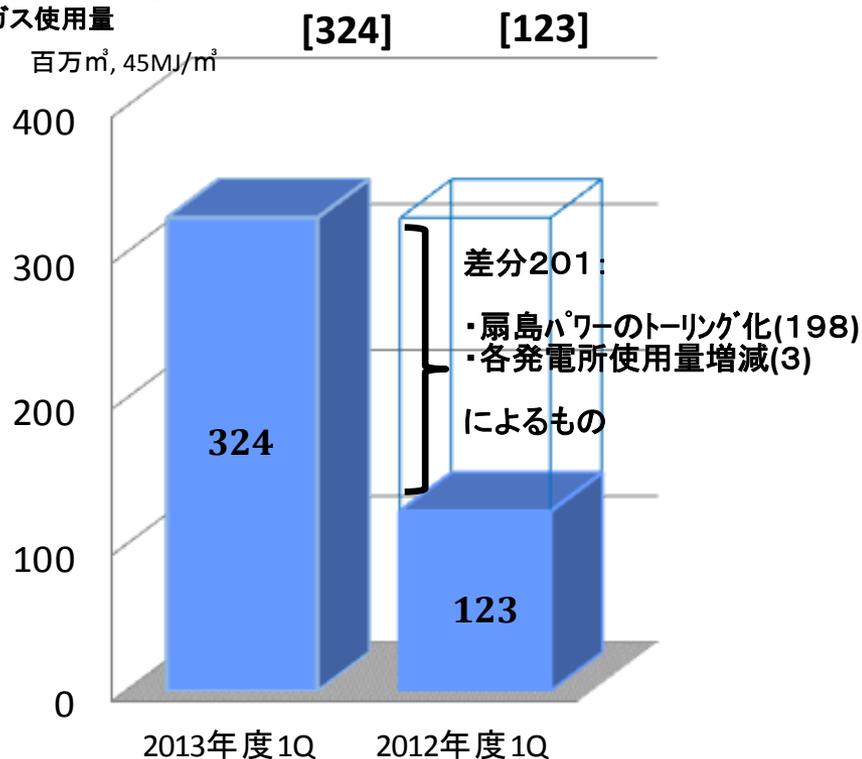
	2013年度 1Q	2012年度 1Q	増減	
ガス販売量 (財務会計数値)	3,387	3,496	▲109	▲3.1%
トーリングによる ガス使用量	324	123	201	163.8%
合計	3,711	3,619	92	2.5%

工業用ガス販売量内訳(単位:百万m<sup>3</sup>、( )内前年実績増減)  
(除くトーリング分)

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	58 (+43)	662 (▲95)	720 (▲53)
一般工業用	30 (+20)	733 (▲9)	764 (+11)
合計	88 (+63)	1,395 (▲104)	1,483 (▲42)

トーリングによる  
ガス使用量

百万m<sup>3</sup>, 45MJ/m<sup>3</sup>



※トーリング: 電力販売者が発電に必要な燃料ガスを調達して発電事業者に渡し、発電事業者はそれを受託発電し電力販売者に引渡し受託発電料を得る契約

# 2013年度実績 セグメント別売上高・営業損益（対2012年度実績）

(単位:億円)

	売上高				営業損益			
	2013年度1Q			2012年度1Q	2013年度1Q			2012年度1Q
	実績	対前期比	%	実績	実績	対前期比	%	実績
都市ガス	3,445	160	4.9	3,285	435	▲46	▲9.6	481
器具及びガス工事	423	▲1	▲0.3	424	6	2	34.0	4
その他エネルギー	794	43	5.7	751	35	7	23.8	28
(電力事業)	285	15	5.4	270	27	10	57.2	17
不動産	73	▲2	▲2.1	75	16	0	▲4.7	16
その他	405	▲45	▲10.1	450	6	▲23	▲79.6	29
(海外事業)	37	9	35.4	28	3	▲19	▲84.9	22
調整額	▲406	155	—	▲561	▲100	4	—	▲104
連結	4,736	310	7.0	4,426	399	▲59	▲12.8	458

- 注記:
- セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」等を含みます。
  - 「その他」には、「建設」、「情報処理サービス」、「船舶」、「クレジット・リース」、「海外」事業等を含みます。
  - 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
  - ( )内は内数表示

# 2013年度実績 経常利益分析

<対2012年度1Q実績>

(単位: 億円)



※符号は利益の貢献に対して表示

---

# 2013年度 上期見通し

---



## ポイント 減収

( + - , +/▲は利益に対する影響を示す, 億円)

売上高	▲130	:	-	都市ガス売上減 (▲181: 都市ガス販売量減(販売量は1Q計画差▲191百万m <sup>3</sup> のみ反映、2Q計画は修正なし))
			+	LNG販売売上増 (+29: 数量増等)
			+	電力売上増 (+23: 販売単価増等)
営業費用	+160	:	+	都市ガス原材料費減 (+178: 販売量減、円高・原油安による原料費減)
			-	LNG販売原材料費増 (▲24: 数量増等)
			+	電力原材料費減 (+3: 円高・原油安による原料費減)
営業利益	+30	:	-	都市ガス営業利益の減 (▲3: 都市ガス販売量減▲64(うち気温影響▲59)、スライド+61)
			+	電力利益の増 (+26: 販売単価増等による利益増)
			+	LNG販売利益増 (+4)

(単位: 億円)

	今回発表	当初計画(4.26)	増減	%	2012年度上期	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	6,732	6,923	▲191	▲2.8%	6,998	▲266	▲3.8%
売上高	9,420	9,550	▲130	▲1.4%	8,637	783	9.1%
営業費用	8,750	8,910	▲160	▲1.8%	7,986	764	9.6%
営業利益	670	640	30	4.7%	650	20	3.0%
経常利益…①	610	600	10	1.7%	670	▲60	▲9.1%
当期純利益	400	400	0	0.0%	399	1	0.0%

気温影響…②	▲59	0	▲59	-	8	▲67	-
スライドタイムラグ…③	108	47	61	-	8	100	-
年金数理差異償却額…④	▲11	▲11	0	-	▲22	11	-
補正経常利益①-(②+③+④)	572	564	8	+1.4%	676	▲104	▲15.4%
補正当期純利益	374	376	▲2	▲0.5%	404	▲30	▲7.4%

(単位: 億円)

原油価格・為替レート変動の粗利影響感度

2Q

JCCが\$1/bbl上昇

▲1

¥1/USD円安

▲10

経済フレーム  
(上期)

原油価格(\$/bbl)

1Q 2Q 平均

為替レート(¥/\$)

1Q 2Q 平均

平均気温  
(°C)

今回見通し

前回見通し

前年上期

# 連結ガス販売量上期見通し

## 前回見通し→今回見通し

▲191百万m<sup>3</sup> (▲2.8%)の減少

[うち気温影響▲71百万m<sup>3</sup>▲1.0%の減少]

## 前年度実績→今回見通し

▲266百万m<sup>3</sup> (▲3.8%)の減少

[うち気温影響▲88百万m<sup>3</sup>▲1.3%の減少]

### ■ 家庭用 ▲51百万m<sup>3</sup> (▲3.8%)

- 気温要因 ▲49百万m<sup>3</sup>
- お客さま件数増 +2百万m<sup>3</sup>
- 日数影響 ▲1百万m<sup>3</sup>
- その他 ▲2百万m<sup>3</sup>

### ■ 家庭用 ▲51百万m<sup>3</sup> (▲3.9%)

- 気温要因 ▲53百万m<sup>3</sup>
- お客さま件数増 +12百万m<sup>3</sup>
- 日数影響 +2百万m<sup>3</sup>
- その他 ▲12百万m<sup>3</sup>

### ■ 業務用 ▲17百万m<sup>3</sup> (▲1.2%)

- 気温要因 ▲19百万m<sup>3</sup>
- 日数影響 +1百万m<sup>3</sup>
- お客さま件数減 ▲2百万m<sup>3</sup>
- その他 +3百万m<sup>3</sup>

### ■ 業務用 ▲25百万m<sup>3</sup> (▲1.8%)

- 気温要因 ▲31百万m<sup>3</sup>
- 日数影響 +3百万m<sup>3</sup>
- お客さま件数増 +1百万m<sup>3</sup>
- その他 +2百万m<sup>3</sup>

### ■ 工業用 ▲109百万m<sup>3</sup> (▲3.3%)

- 一般工業用: ▲19百万m<sup>3</sup>  
(既存設備稼働減等)
- 発電専用: ▲90百万m<sup>3</sup>  
(既存設備稼働減等)

### ■ 工業用 ▲203百万m<sup>3</sup> (▲6.1%)

- 一般工業用: +26百万m<sup>3</sup>
- 発電専用: ▲230百万m<sup>3</sup>  
トーリング影響等

### ■ 卸 ▲14百万m<sup>3</sup> (▲1.5%)

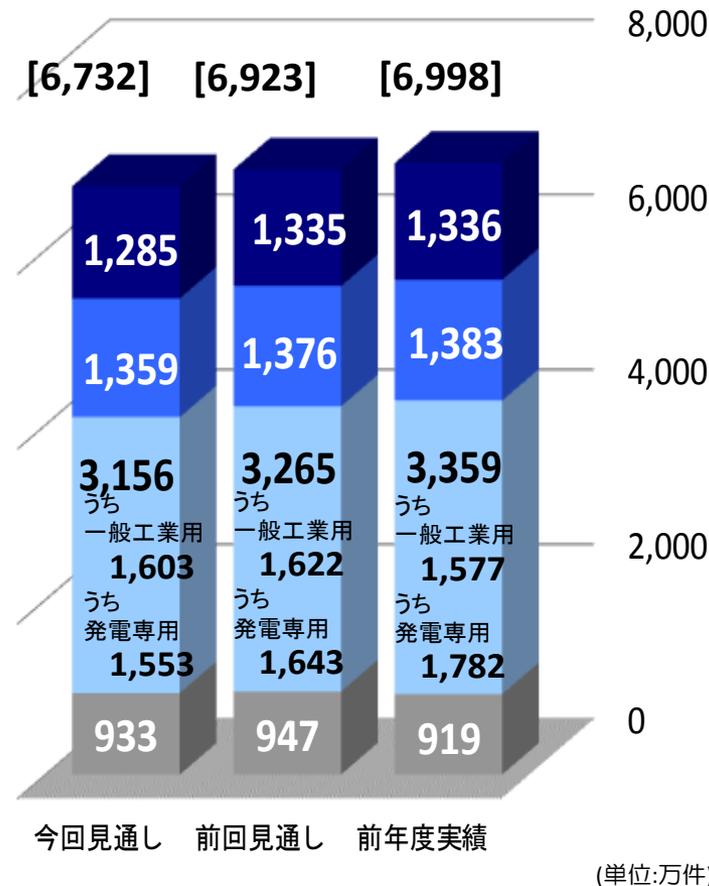
- 気温要因 ▲3百万m<sup>3</sup>
- その他 ▲11百万m<sup>3</sup>  
(卸供給事業者需要減等)

### ■ 卸 +14百万m<sup>3</sup> (+1.5%)

- 気温要因 ▲4百万m<sup>3</sup>
- その他 +18百万m<sup>3</sup>  
(卸供給事業者需要増等)

ガス販売量:

(百万m<sup>3</sup>以下四捨五入)



	今回見通し	前回見通し	増減
LNG液販売量(千t)	730	726	+4(+0.5%)
平均気温(°C)	21.8	21.4	+0.4

# トーリング移行によるガス使用量変化

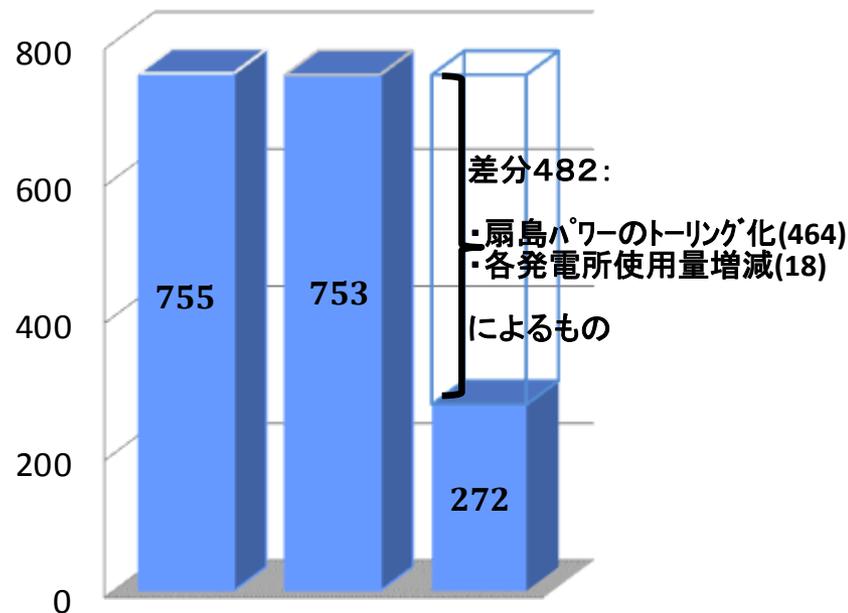
## 2013年度上期見通し

トーリングによるガス使用量込(単位:百万m<sup>3</sup>)

	今回 見通し	前回 見通し	増減	FY2012 実績	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	6,732	6,923	▲191 (▲2.8%)	6,998	▲266 (▲3.8%)
トーリングによる ガス使用量	755	753	+1 (+0.2%)	272	+482 (+176.9%)
合計	7,486	7,676	▲190 (▲2.5%)	7,270	+216 (+3.0%)

百万m<sup>3</sup>, 45MJ/m<sup>3</sup>

トーリングによるガス使用量



工業用ガス販売量内訳(単位:百万m<sup>3</sup>、( )内は前回見通し差異)  
(除くトーリング分)

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	212 (▲49)	1,341 (▲41)	1,553 (▲90)
一般工業用	70 (+1)	1,533 (▲20)	1,603 (▲19)
合計	282 ▲48)	2,874 (▲61)	3,156 (▲109)

今回見通し 前回見通し FY2012実績  
※トーリング:電力販売者が発電に必要な燃料ガスを調達して発電  
事業者に渡し、発電事業者はそれを受託発電し電力販売者に引渡し  
て受託発電料を得る契約

---

# 2013年度 通期見通し

---



# 2013年度通期見通し(2013.4.1 - 2014.3.31) <対前回見通し(4月26日発表)>

## 通期見通しのポイント 減収

(+/-, +/-▲は利益に対する影響を示す, 億円)

売上高	▲200	-	都市ガス売上減	(▲240:数量差▲145、円高・原油安による単価減▲95)
		(販売量は1Q計画差▲191百万m <sup>3</sup> (発電専用▲90、気温影響▲71)のみ反映、2Q以降計画は修正なし)		
		+	LNG販売売上増	(+41:スライドによる単価増等)
		+	電力売上増	(+34:販売単価増等)
営業費用	+200	+	都市ガス営業費用減	(+194:数量減+81、円高・原油安による費用減+79等)
		-	LNG販売営業費用増	(▲38:スライドによる費用増等)
営業利益	±0	-	都市ガス営業利益減	(▲46:数量差▲64(うち気温差▲59)、スライドタイムラグ+18)
		+	電力事業営業利益増	(+22:販売単価増に伴う利益増等)
		+	その他	(+24:海外+9、LNG販売+3、船舶+3他)

(単位:100万m<sup>3</sup>・45MJ、億円)

	今回見通し	前回見通し(4/26)	増減	%	2012年度	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	14,590	14,781	▲191	▲1.3%	15,390	▲800	▲5.2%
売上高	20,960	21,160	▲200	▲0.9%	19,156	1,804	9.4%
営業費用	19,350	19,550	▲200	▲1.0%	17,700	1,650	9.3%
営業利益	1,610	1,610	0	0.0%	1,456	154	10.6%
経常利益...①	1,550	1,550	0	0.0%	1,474	76	5.1%
当期純利益	1,010	1,010	0	0.0%	1,016	▲6	▲0.7%
気温影響...②	▲59	0	▲59	-	29	▲88	-
スライドタイムラグ...③	+227	+209	18	-	▲124	351	-
年金数理差異償却額...④	▲22	▲22	0	-	▲44	22	-
補正経常利益...①-(②+③+④)	1,404	1,363	41*	3.0%	1,613	▲209	▲13.0%
補正当期純利益	913	886	27	3.0%	1,109	▲196	▲17.7%

※+41:ガス販売量減▲5(気温影響▲59控除後)、電力+22、海外+9、その他セグメント利益増等+15

期待収益率:2%

(単位:億円)

原油価格・為替レート変動の  
粗利影響感度

2Q~4Q合計

JCCが\$1/bbl上昇	▲10
¥1/USD円安	▲12

経済フレーム (通年)	原油価格 (\$/bbl)	為替レート (¥/\$)	平均気温 (°C)
今回見通し	109.4	99.7	16.8
前回見通し	110.0	100.0	16.6
2012年度	113.9	82.9	16.6

年金	運用利回り ※コスト控除後	割引率	期末 資産 (億円)
FY12	6.10%	1.4%	2,760
FY11	5.13%	1.7%	2,540

# 連結ガス販売量見通し

## 前回見通し → 今回見通し

▲191百万m<sup>3</sup> (▲1.3%)の減少

[うち気温影響▲71百万m<sup>3</sup>, ▲0.5%の減少]

### ■ 家庭用 ▲51百万m<sup>3</sup> (▲1.4%)

- 気温要因 ▲49百万m<sup>3</sup>
- お客さま件数増 +2百万m<sup>3</sup>
- 日数影響 ▲1百万m<sup>3</sup>
- その他 ▲2百万m<sup>3</sup>

### ■ 業務用 ▲17百万m<sup>3</sup> (▲0.6%)

- 気温要因 ▲19百万m<sup>3</sup>
- 日数影響 +1百万m<sup>3</sup>
- お客さま件数減 ▲2百万m<sup>3</sup>
- その他 +3百万m<sup>3</sup>

### ■ 工業用 ▲109百万m<sup>3</sup> (▲1.7%)

- 一般工業用: ▲19百万m<sup>3</sup>  
(既存設備稼働減等)
- 発電専用: ▲90百万m<sup>3</sup>  
(既存設備稼働減等)

### ■ 卸 ▲14百万m<sup>3</sup> (▲0.7%)

- 気温要因 ▲3百万m<sup>3</sup>
- その他 ▲11百万m<sup>3</sup>  
(卸供給事業者需要減等)

## 前年実績 → 今回見通し

▲800百万m<sup>3</sup> (▲5.2%)の減少

[うち気温影響▲139百万m<sup>3</sup>, ▲0.9%の減少]

### ■ 家庭用 ▲75百万m<sup>3</sup> (▲2.1%)

- 気温要因 ▲82百万m<sup>3</sup>
- 日数影響 +2百万m<sup>3</sup>
- 件数増 +37百万m<sup>3</sup>
- その他 ▲32百万m<sup>3</sup>

### ■ 業務用 ▲55百万m<sup>3</sup> (▲1.9%)

- 気温要因 ▲53百万m<sup>3</sup>

### ■ 工業用 ▲729百万m<sup>3</sup> (▲10.3%)

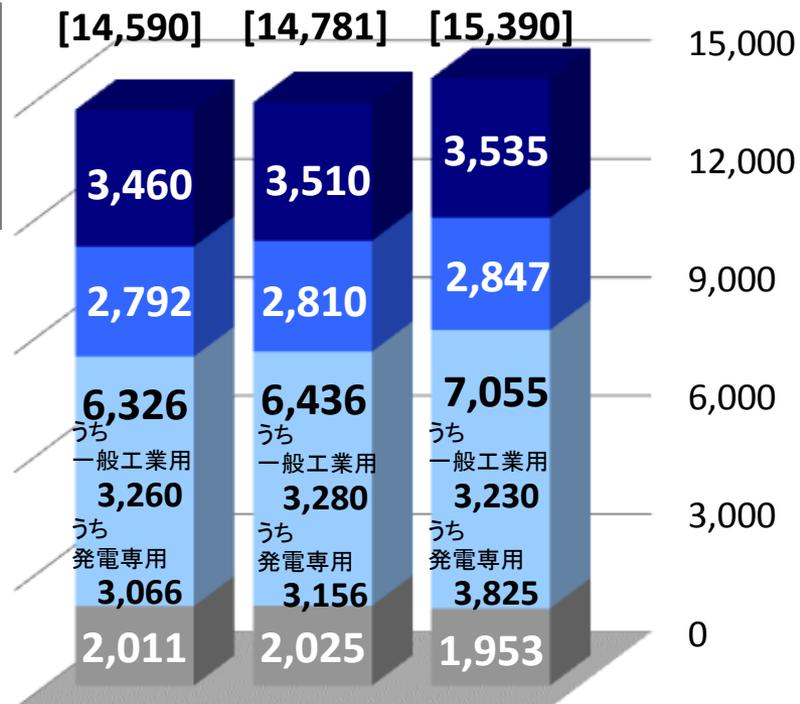
- 一般工業用: +30百万m<sup>3</sup>  
(鹿島地区稼働増等)
- 発電専用: ▲759百万m<sup>3</sup>  
(トーリング影響等)

### ■ 卸 +58百万m<sup>3</sup> (+3.0%)

- 気温要因 ▲4百万m<sup>3</sup>
- その他 +62百万m<sup>3</sup>  
(卸供給事業者需要増等)

ガス販売量:

(百万m<sup>3</sup>以下四捨五入)



今回見通し 前回見通し 前年度実績

	今回見通し	前回見通し	増減
LNG液販売量(千t)	1,394	1,388	+6(+0.4%)
平均気温(°C)	16.8	16.6	+0.2

(単位:万件)

### お客さま件数

	今回見通し	前回見通し	増減
お客さま件数	1,110.4	1,110.2	+0.2(+0.0%)

## 2013年度見通し

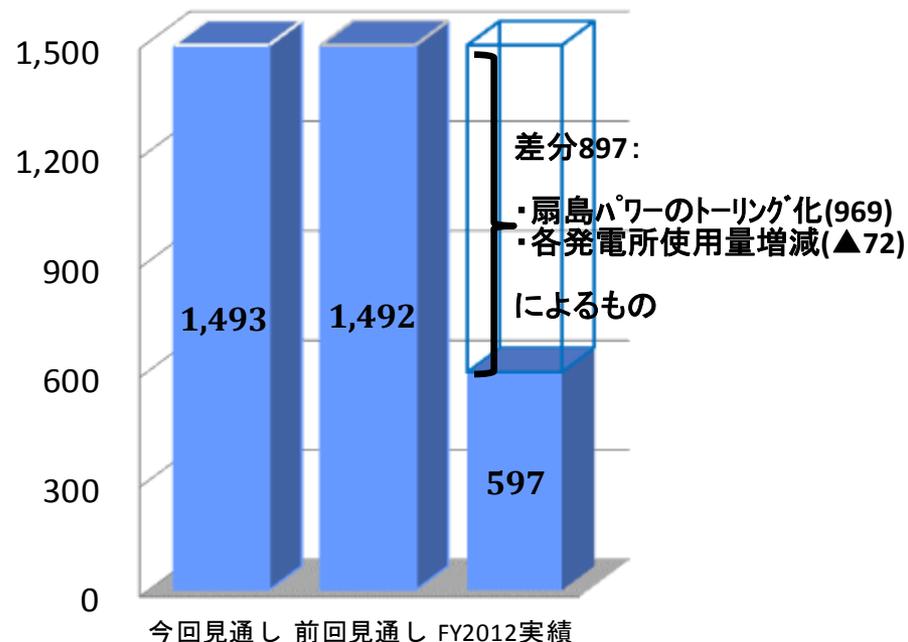
トーリングによるガス使用量込(単位:百万m<sup>3</sup>)

	今回見通し	前回見通し	増減	FY2012実績	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	14,590	14,781	▲191 (▲1.3%)	15,390	▲800 (▲5.2%)
トーリングによる ガス使用量	1,493	1,492	+1 (+0.1%)	597	+897 (+150.3%)
合計	16,083	16,273	▲190 (▲1.2%)	15,986	+97 (+0.6%)

工業用ガス販売量内訳(単位:百万m<sup>3</sup>、( )内は前回見通し増減)  
(除くトーリング分)

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	508 (▲49)	2,558 (▲41)	3,066 (▲90)
一般工業用	157 (+1)	3,103 (▲21)	3,260 (▲19)
合計	665 (▲48)	5,661 (▲62)	6,326 (▲109)

百万m<sup>3</sup>, 45MJ/m<sup>3</sup> トーリングによるガス使用量



※トーリング: 電力販売者が発電に必要な燃料ガスを調達して発電事業者に渡し、発電事業者はそれを受託発電し電力販売者に引渡し受託発電料を得る契約

# 2013年度通期 セグメント別売上高・営業損益（対前回見通し）

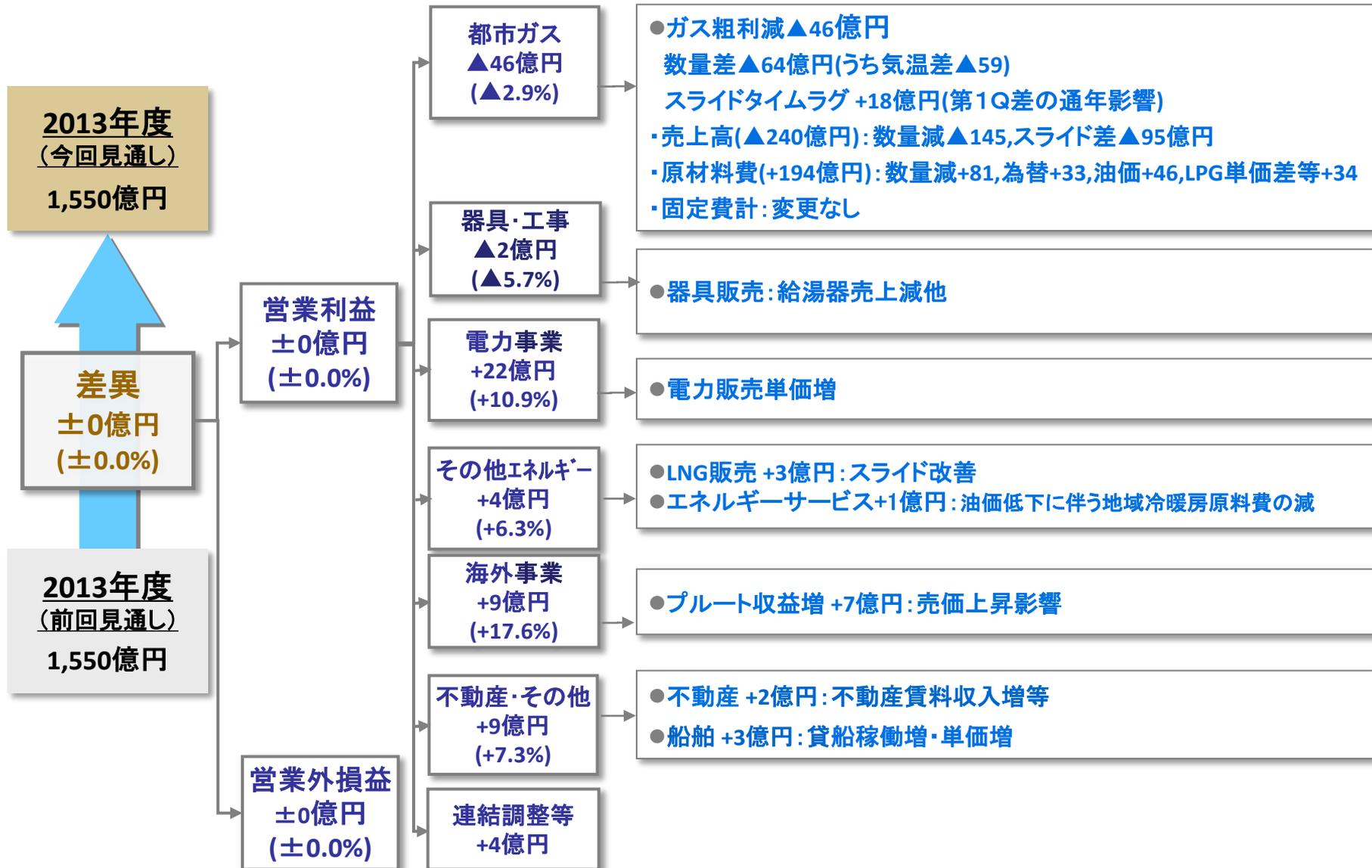
(単位:億円)

	売上高					営業損益				
	今回見通し			前回見通し 4/26	前年度 実績 FY2012	今回見通し			前回 見通し 4/26	前年度 実績 FY2012
	金額	対前回 見通し	%			金額	対前回 見通し	%		
都市ガス	14,957	▲240	▲1.6	15,197	14,019	1,543	▲46	▲2.9	1,589	1,413
器具及びガス工事	2,075	▲15	▲0.7	2,090	2,060	33	▲2	▲5.7	35	44
その他エネルギー	3,436	57	1.7	3,379	3,366	291	26	9.8	265	259
（電力事業）	1,298	34	2.7	1,264	1,270	223	22	10.9	201	191
不動産	281	1	0.4	280	302	48	2	4.3	46	56
その他	1,917	29	1.5	1,888	1,957	144	16	12.5	128	135
（海外事業）	234	8	3.5	226	124	60	9	17.6	51	24
調整額	▲1,706	▲32	—	▲1,674	▲2,550	▲449	4	—	▲453	▲451
連結	20,960	▲200	▲0.9	21,160	19,156	1,610	0	0.0	1,610	1,456

- 注記:
- セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」等を含みます。
  - 「その他」には、「建設」、「情報処理サービス」、「船舶」、「クレジット・リース」、「海外」事業等を含みます。
  - 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
  - （ ）内は内数表示

# 2013年度見通し 経常利益分析 <対前回見通し>

(単位:億円)

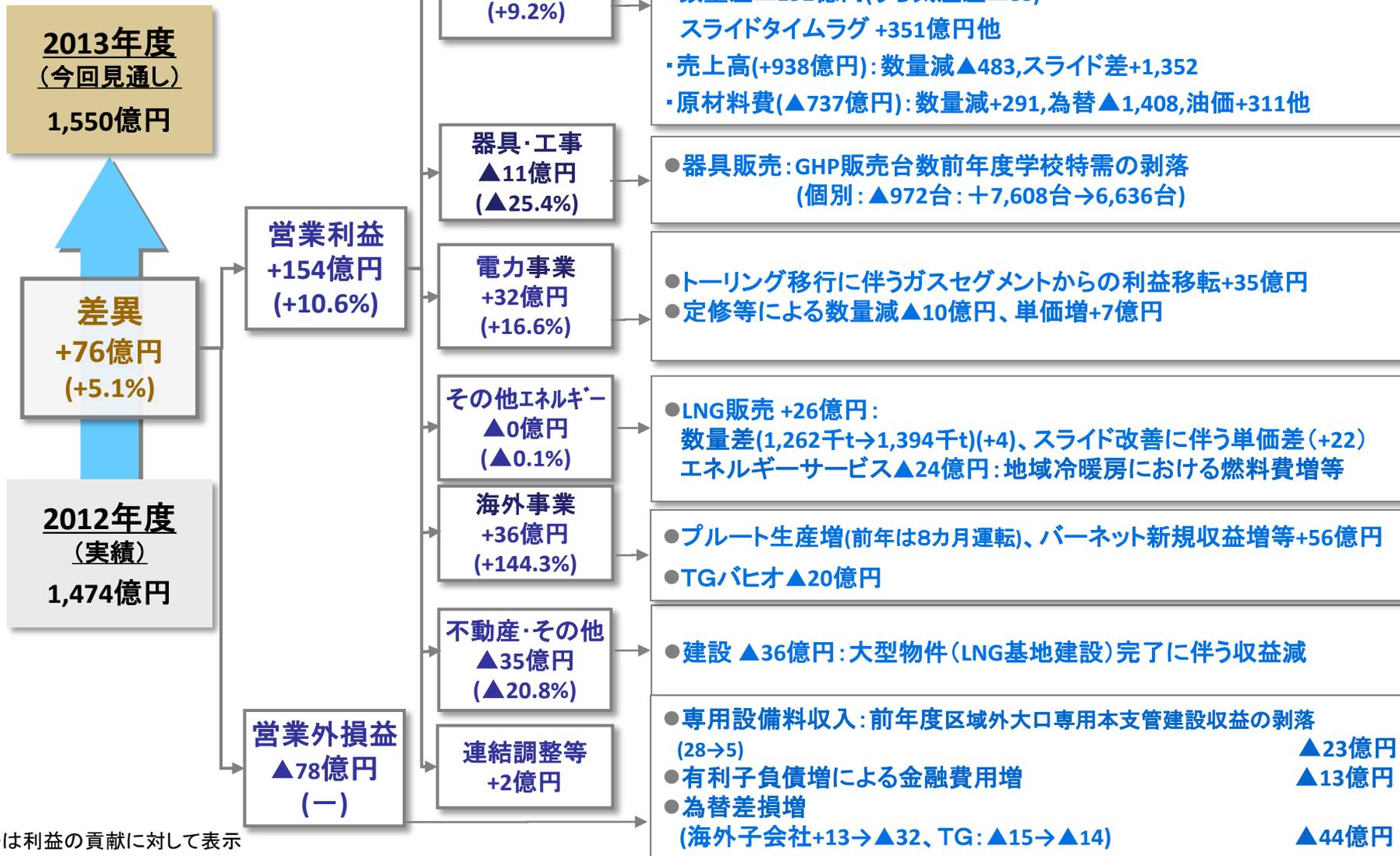


※符号は利益の貢献に対して表示

# 2013年度見通し 経常利益分析

<対2012年度実績>

(単位:億円)



※符号は利益の貢献に対して表示

# 主要計数表（連結）

(単位: 億円)

	2012年度 実績	2013年度 前回見通し	2013年度 今回見通し
総資産 (a)	19,924	20,900	20,910
自己資本 (b)	9,276	9,640	9,670
自己資本比率 (b)/(a)	46.6%	46.1%	46.2%
有利子負債 (c)	6,425	7,160	7,160
D/E レシオ (c)/(b)	0.69	0.74	0.74
当期純利益 (d)	1,016	1,010	1,010
減価償却 (e)	1,387	1,390	1,400
営業キャッシュフロー (d) + (e)	2,404	2,400	2,410
設備投資 (Capex)	1,837	2,580	2,580
ROA: (d) / (a)	5.3%	4.9%	4.9%
ROE: (d) / (b)	11.5%	10.7%	10.7%
TEP	598	575	570
WACC	3.2%	3.2%	3.2%
総分配性向	60.7%	60%程度予定	60%程度予定

注: 自己資本 = 純資産 - 少数株主持分  
 ROA = 純利益/総資産 (期首・期末平均)  
 ROE = 純利益/自己資本 (期首・期末平均)  
 BS関連数値は各期末時点の数値  
 営業キャッシュフロー = 純利益 + 減価償却 (長期前払費用償却含む)  
 総分配性向 = [N年度の配当 + (N+1)年度の自社株取得] / N年度の連結純利益  
 \* 発行済み株式総数: 2,577,919,295株 (2013年3月31日現在)

TEP (Tokyo Gas Economic Profit) について  
 TEP=NOPAT-資本コスト (投下資本×WACC)  
 WACC算定諸元(2013見通し)  
 ・有利子負債コスト 金利1.6%  
 ・株主資本コスト率 10年国債利回過去10年平均 1.3%  
 ・リスクプレミアム 4.0%  $\beta$  0.75  
 ・自己資本=平均時価総額

---

## 参考資料

---

連結工業用ガス販売量推移

